

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
81	明星大学	社会イノベーション論	片田 保 人文学部 非常勤講師	2	後期	水	15	16:25～17:55	明星大学 日野キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

本講義では、社会問題の理解を深め、その解決のために自ら柔軟に発想できるように、次の能力を身に付けていく。知識(少子高齢化、地球環境、男女社会参画、都市の過疎・過密など我が国の社会問題に関する知識、社会問題の解決のために取り組まれている活動に関する知識)、理解(社会問題が生じている背景、その問題解決に必要な取り組みの理解)、思考(社会問題の解決に必要な理解、柔軟に発想する思考)、判断(社会問題を多面的に捉えて判断する力)、技能(自身の考えを発表し他の人の意見を聞く力)。

#### 【授業の概要】

講義では、社会で起きている問題について考え、楽しく解決することを目指す。各回ともスライドや動画(ビデオ)を用いて解説し、適宜、学生に問いかけ、考えや意見を引き出しながら授業を行う。前の授業の終わりに次回のテーマを予告するので、各自、次回までにインターネットなどを用いて下調べを行なっておくこと(目安時間:30-60分程度)。特に次回の講義の中で各自の意見や考えを聞くポイントを示すので、予習して臨むことが望ましい。

#### 【授業内容】

1. イントロダクション:講義の概要、社会問題を考える
2. 社会イノベーションとは:イノベーションの考え方
3. 社会イノベーションの背景:どうして求められているのか
4. 社会イノベーションの技術:デジタルテクノロジー(SNS、ビッグデータ等)
5. 行政改革:行政の限界、新しい公共への転換
6. 非営利活動:NPO、ボランティアによる活動
7. 経営戦略 1:CSR(企業の社会責任)
8. 経営戦略 2:ソーシャルマーケティング
9. 経営戦略 3:CSV(共通価値の創造)
10. ソーシャルビジネス:社会的企業・起業
11. 社会イノベーションの発想:シェア、オープン、共創等
12. 社会イノベーションの起こし方:連携・協働等
13. 社会問題のケーススタディ:課題を発見する
14. 社会イノベーションを考える 1:みんなで語り合い考える
15. 社会イノベーションを考える 2:自分自身の問題として考える

#### 【成績評価方法】

成績は、(1)授業への積極的参加(授業でのディスカッション)と学習意欲(小レポート)、(2)期末試験(論述)によって評価する。(1)は、毎回の授業で、講義を聞いて理解したこと、発表したこと、他の学生の意見を聞いて考えたことを記述する。(2)は、授業の各回のポイントについての理解度に関する問題、社会問題の中から自身の関心のある題材を選んで問題を解決するための考え方を記述する期末試験を行う。各々の配分は(1)30%、(2)70%の割合で得点化し、その合計により総合的に評価する。なお、授業の出席は7割以上(欠席は4日まで)とする。

#### 【教科書、参考書、教材等】

参考図書:社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門/駒崎弘樹(PHP新書)/820円  
 参考図書:ソーシャルデザインー社会をつくるグッドアイデア集/グリーンズ編(朝日出版社)/940円  
 参考図書:Thinkers 50 イノベーション/S・クレイナー他(プレジデント社)/1,500円  
 参考図書:地域を変えるデザイン/寛裕介(英知出版)/2,000円  
 参考図書:グッドワークス!/F・コトラー他(東洋経済新報社)/2,200円  
 特に教科書は定めない。各回ともスライドを活用して授業を行う。上記以外の参考図書は、適宜、授業の中で紹介する。

※ この授業は、9/16(水)が初回です。